

2006年度 総合講座授業日程

講座名	図書館活用法		
開催地区名	和泉	開講区分	前期
授業曜日・時限	水曜日	4時限	M302教室
コーディネータ	商学部	氏名	広沢 絵里子

	月・日	テーマ	担当者
1	4月12日	大学図書館への招待	広沢 絵里子
2	4月19日	図書の歴史と図書館	高橋 美子
3	4月26日	明大図書館の施設・蔵書・サービス —和泉図書館を中心に—	中村 正也
4	5月10日	図書による情報の探し方	梅林 千香子
5	5月17日	書物の愉しみ —フアナの図書室—	旦 敬介
6	5月24日	【実習】 図書情報の探し方 (1)	金澤 敦子 畑野 繭子 伊藤 朋子
7	5月31日	【実習】 図書情報の探し方 (2)	金澤 敦子 畑野 繭子 伊藤 朋子
8	6月7日	新聞・雑誌情報の探し方 (1)	柴尾 晋
9	6月14日	【実習】 新聞・雑誌情報の探し方 (2)	柴尾 晋 樺田 順一 矢野 恵子
10	6月21日	インターネット情報の探し方 (1)	中林 雅士
11	6月28日	インターネット情報の探し方 (2)	中林 雅士 丸山 郁太郎 菊池 亮一
12	7月5日	図書館と著作権	中村 正也
13	7月12日	レポート・論文の書き方	広沢 絵里子

図書館活用法 (和泉・前期/後期 4時限目開講)

<資料4>

1. 授業のねらい

明治大学図書館は200万冊を越える蔵書と、2万種類の雑誌を所蔵しています。加えて、いつでもどこからでも世界中のデータベースにアクセスすることが可能な時代になりました。そうした無数の書物と情報の洪水の中から、求める文献や情報を的確、かつ迅速に探し出すにはどうしたらいいのでしょうか。ある特定の課題を、書物、雑誌、データベース、ネットワーク、インターネットなどを駆使して解決し、レポートに仕上げる。その方法を学ぶ過程を通して、図書館や書物の愉しさ、奥深さを味わい、情報メディアを使いこなすスキルを身に付けてもらいたいと考えています。

2. 授業の形態

教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します(下記の無記名部分は図書館員が担当します)。座学(概論)と実習を有機的に組み合わせ、実習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。

3. 成績評価

試験あるいはレポートと出席状況によります。

4/12(前期)・9/20(後期) 大学図書館への招待

商学部 教授 広沢 絵里子

大学へ入学したとはいえ、大学の図書と付き合えるようになるには、それなりの修行が要る。かくいう私も、学部時代は図書館を勉強する「空間」として利用することが多く、所蔵されている「資料」を十分活用することはできなかった。自分の専門のドイツ文学に関していえば、大学院時代のドイツ留学を経て日本に戻ったとき、日本の母校の図書室に備えられていた本の「意味」がようやく分かって驚いたことがある。これではあまりに遠回りだ。「図書館活用法」第一回は、私自身の学生時代の体験談から、図書館で「眠っている本」が「目を覚ます」までのエピソードをご紹介します。受講者の皆さんにとって、図書館の本がなるべく早いうちに「生命」を持つようになるよう、お手伝いしたい。

4/19(前期)・9/27(後期) 図書の歴史と図書館

教養について考えたことがありますか。教養は Culture、つまり耕すことです。図書は、自らを耕す人のためにあります。文字が生まれ、口承によらない文化(書物)が知識階級から庶民の生活に浸透し、知識をわれらのものにするために、人類の歴史でほんの瞬きする瞬間に図書館が誕生しました。図書の歴史を語る時間、それは図書の身体の歴史を語るときでもあります。詩人西脇順三郎は従弟に、新刊書を「嗅げ！」と命じたそうです。

図書は受難の歴史を今も刻んでいます。図書館はこの人間精神の守り手として、資料を収集し、その組織化を図っています。そしてこの組織の紐を解いて、図書が自分史の一ページを飾れるように、図書の分類、目録、所蔵、検索語など、いくつかのハードルを、ひとつ一つ解き明かして、図書館が諸君の庭になるように、手を差し伸べたいと思います。

4/26(前期)・10/4(後期) 明大図書館の施設・蔵書・サービス —和泉図書館を中心に—

本学は駿河台・和泉・生田キャンパスに図書館を設置し、それぞれ中央図書館、和泉図書館、生田図書館と称しています。本学の学生はいずれの図書館も利用することができます。学習・研究

において図書館は必須の存在です。図書館を知ることが、より上手に図書館を利用できることにつながります。

まず、本学図書館全体の概要とそれぞれの図書館の特色を説明します。その上で、和泉図書館について、施設・設備・資料の配架・蔵書の特色等を説明し、さらに、図書館利用についての相談、図書・文献の利用についての相談、他大学からの図書・文献の取り寄せなど、図書館が行っているサービスについて紹介します。

5/10(前期)・10/11(後期) 図書による情報の探し方

物事、出来事、人物などについて調べたい、新しい用語の意味を知りたい、テーマに即した文献リストがほしい、統計情報を入力したい、学問分野の定説を知りたい等々、日々の学習の中で、調べものが必要になることが多々あると思います。このような調べものをするのは学問の基本であり、効率よく調べものをするための図書が存在します。それは、参考図書、あるいは、レファレンスブック(ツール)というもので、図書館ではこれらを各種取り揃えて利用に供しています。これらを使うことは、場合によってはインターネットやデータベースを使うより役に立つことがあるのです。代表的なレファレンスブックの種類や特徴を説明するとともに、いくつか事例を紹介しながら、レファレンスブックの使い方や調査方法について解説します。

5/17(前期)・10/18(後期) 書物の愉しみ -フアナの図書室-

法学部 助教授 且 敬介

三百年におよぶ植民地時代のアメリカ大陸最大の作家は、フアナ・イネス・デ・ラ・クルス。十七世紀末のメキシコ・シティ、バロックの時代を生きた明晰きわまる若き美貌の修道女だ。けれども、彼女は決して信仰篤い修道女ではなかった。修道女になるというのは、女の生き方に制約の多い時代の中で、彼女が思うがままに本を読み、文筆家として生きるために選びえた唯一の選択だったのだ。修道院の彼女の居室には、コペルニクスやガリレオ、デカルト、セルバンテスなどをふくむ四千冊ほどの本があり、彼女は生前に全集が出版されるというまれに見る大成功を収めた。ところが、文名の絶頂で、そのすべてを手放し、筆を断つことを命じられる。それはどうしてだったのか。どれほどの絶望がそこにはあったことだろうか。その過酷な命令に彼女は立ち向かったのだったか。

本は世界への窓、過去への窓、人の心への窓だ。私たちは物理的にはひとりの人間としてしか生きられない。しかし、読書を通して、別の人の心の中に飛びこんで、別の国の、別の時代の、別の性別の人間になりにかってみることができる。その入口が無数に開かれているのが図書館だ。

宗教的な時代のさなかで、理性的である権利、女が発言する権利、自分の願望を実現する権利のために戦いながらフアナが命をかけて構築した私設図書室に想像をはせてみたい。

5/24(前期)・10/25(後期) 【実習】 図書情報の探し方 (1)

図書館の書架を巡って、目で見、手で触れ、本の厚み、装丁、ページの感覚を受容する。この感覚は古本屋を巡って、やっと手にした書物の匂いさえ思い起こさせます。しかしながら、ブラウジング(書架間の逍遙)は、時間という「たくらみ」の前には無力です。手短かに引き出したいという要求。明大図書館蔵書200万冊超にアクセスするには、目録検索システム、別名蔵書検索システム(OPAC)を使うしか道はありません。蔵書を検索する原初的意味を明らかにして、OPACと検索エンジンの違いをまず理解していただきます。

検索では目録・分類、請求記号などのデータを読み取り、より多くの情報を得ると同時に、逆にターゲットを絞った検索方法を学んでいただきたい。また携帯OPACやポータルサービスという図書館をよりよく利用するための各種サービスについても説明します。

5/31(前期)・11/8(後期) 【実習】 図書情報の探し方 (2)

明大図書館の目録を補完するシステムに、全国の大学・学術研究機関の共同目録検索システムがあります。OPAC端末を使って山手線沿線私立大学図書館コンソーシアムOPAC、NACSIS Webcat(国立情報学研究所総合目録検索システム)、NDL-OPAC(国立国会図書館目録検索システム)、などについて実習します。

OPACで山手線コンソーシアムに辿り着いた先の利用方法は、よく聞かれる質問です。NACSIS Webcatのデータと各大学図書館の蔵書の関係も知られていません。NDL-OPACでヒットした資料の利用方法を尋ねたい。地域図書館ネットワークはどんな利点があるのか。また、検索のテクニックはあるのか。たとえば、資料に表れたタイトルが原書名なのか翻訳書名なのか、論文名検索か雑誌名検索か、テーマ検索はキーワード検索か、分類検索か。つまり検索以前に、何を知りたいかを整理した上での検索実習を行います。

6/7(前期)・11/15(後期) 新聞・雑誌情報の探し方 (1)

図書館では図書ばかりではなくさまざまな形態・媒体の資料を収集しています。授業でのレポート作成やゼミでの発表準備のためにいろいろな文献を調査する必要がありますが、図書だけを調べて皆さんが必要としている情報を得ることができるでしょうか?新聞・雑誌には最新の情報やテーマを絞った論文などが掲載されていて、図書と同等かそれ以上の情報を持っています。

新聞の原紙、縮刷版、マイクロフィルム、CD-ROMや雑誌の最新号、バックナンバーなどを紹介するとともに、図書館の新聞・雑誌エリア、雑誌書庫などの利用についても説明をします。

6/14(前期)・11/22(後期) 【実習】 新聞・雑誌情報の探し方 (2)

最初に新聞・雑誌のOPAC検索について学び、図書の検索との違いを説明します。検索についてはこれまでに学んだことを必要としますので、必ず復習をしておいて下さい。

OPACでは新聞の記事単位、雑誌の論文単位での検索ができません。つまりOPACは新聞・雑誌の所蔵情報を調べるものであり、記事単位・論文単位のように中身での検索はできません。そのため記事単位・論文単位での検索をするには、「雑誌記事索引」などのデータベースを利用することになります。この講座では皆さんにとって有益なさまざまなデータベースを説明するとともに、実習を通じてスキルを身に付けてもらいたいと考えています。

6/21(前期)・11/29(後期) インターネット情報の探し方 (1)

6/28(前期)・12/6(後期) インターネット情報の探し方 (2)

インターネットが少数の情報技術者の占有物から、それこそ万人が利用することが出来る情報・

コミュニケーションのインフラストラクチャへと変化して、まだ10年ほどしか経っていません。しかしインターネットの普及によって、この10年間で、「学術情報」の流通形態、言い換えると「学術情報」の探索方法に非常に大きな変化がありました。今やインターネットの利用は、図書館所蔵資料の活用とともに、大学において学習・研究を進めるうえで、情報探索において欠くべからざる道具となりました。

こうした状況を踏まえ、インターネット上の情報の種類、探索方法、特性、問題点等について、実習を交え説明します。また、情報の信頼性の問題や、紙媒体資料との性格の違いなどを学習することにより、図書館資料の重要性を再確認することにもなるでしょう。

7/5(前期)・12/13(後期) 図書館と著作権

私たちは、学習、研究、論文・レポート作成において、多くの図書・論文等を利用しています。近年では、インターネット上の情報利用も欠かせません。そして、これらの著作物の利用にあたっては、著作権法に関わる事柄が生じることがあります。

著作権法とは、著作物などの「文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もって文化の発展に寄与することを目的」とした法律です。

この講座では、著作権法の概要を説明し、図書館の図書・雑誌の複写利用や、自身の論文・レポート作成における引用等が著作権とどのように関わるかを学びます。インターネットの利用に関わる著作権についても取り上げます。

7/12(前期)・12/20(後期) レポート・論文の書き方

商学部 教授 広沢 絵里子

レポートと論文は、なにか根本的に違うのだろうか。授業で提出するのがレポートで、卒業時に作成するのが論文なのだろうか。

今回の授業では、レポートと論文は、どちらも「一定のルールに則って書かれる学術コミュニケーション上の文書」と定義しておく。たとえば、各大学や、その講義の中で、提出すべきレポートや論文になんらかの執筆ルールが示されている場合、それを無視して書かれた文書は、どれほど独創的であっても減点せざるを得ないことがある。論文の書き方は、それぞれの専門分野によって多少異なる習慣があるが、原則的なルールは共通している。その一つは、他人の著作物や知的財産を公正に利用させていただいた上で、「自分の仕事」を作り上げるためのルールだ。他者の著作物を利用するには「引用」という方法がある。この授業では、「引用」を意識することで、レポート・論文の質をぐっとレベルアップする方法について考えてみたい。

今回の総合講座を通じて学んだ知識や技術が、実際に「考えて」「書く」際に役立つよう、まとめの講義としたい。